イベントレポート第１１号

平成２９年９月８日
青 森 森 林 管 理 署

青森市立北中学校の職場体験を実施しました

青森北中学校では、キャリア教育の推進にあたり、生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育てることを目的に職場体験学習を実施しています。

青森森林管理署では、中学生の林業等のキャリア教育と森林環境教育の推進のため、森林・林業に関心のある生徒５名を受け入れ、９月５日（火）～７日（木）までの３日間、国有林においての職場体験を実施しました。

１日目は、署長の挨拶のあと、森林管理署等の組織と役割や森林の働きなどについて講義を受けました。学校とは違う緊張を感じながら真剣に耳を傾けていました。午後は青森市内真部にある眺望山で、森林管理署が行っているコンパス測量、測樹調査を体験してもらいました。生徒たちは初めて手にする道具に興味津々でした。

署長の歓迎の挨拶

講義を受けている様子

コンパス測量をしています

木の高さを測っています

２日目は、外ヶ浜町蟹田大平地区の国有林内で丸太を生産している現場の見学と植付け、スギ人工林の除伐作業を体験をしました。丸太を生産している現場では、プロセッサ、グラップルの大型重機に乗ってレバーを操作し丸太を掴

んだりしました。次に場所を移動してスギのコンテナ苗を植付けし、昼食後はスギ人工林で鋸を使った除伐作業を体験しました。生徒たちは初めての体験に汗を流し奮闘していました。

重機の操作に挑戦

初めての植付けも簡単

りっぱな林業ボーイズ&ガールズ？

鋸を使って除伐作業

３日目は市内の製材工場と森林博物館を見学しました。 製材所では機械の多さと製材品の多さに驚き、森林博物館では昔使用されていた道具を見て勉強になったと感心していました。最初は緊張していたものの、最後は笑顔で記念撮影をして森林管理署を後にしました。

なお、この体験で、（有）前田林業、青森県森林組合連合会、斎藤木材（株）様にご協力を頂きました。

製材した板の説明を聞いています

玄関前で記念撮影